

集合住宅の同じ棟で間取りの大きさが異なる部屋を供給したり、元の地域や仮設住宅の近隣住民がまとまって入居できる枠を設けたり、自治体ごとに工夫している。

それでも住民が孤立化する傾向は避けられず、市町村の見回り活動も仮設住宅ほど徹底されていないのが

仮設か 「2軒」 山元町

神大震災で要援護者支援に取り組んだNPO法人「さくらネット」(兵庫県西宮市)代表理事の石井布紀子さん(49)は「行政が見回り続けるのも網羅するのも無理。民間の力を借り、住民が見守り合う関係を醸成することが大事だ」と指摘する。石井さんが関わる若手県釜石市では、復

した被災者が多く、入居当初は住民のつながりはなかったが、「孤独死を出さない」を合言葉にゼロからコミュニティを作ってきた。復興住宅でも、他地区から移り住む住民に「お茶会」などもおろすと、公園や飲食店などお薦めの場所をまとめた「ウエルクラムマップ」作りを進める。

子宮移植の検討開始

日産婦、小委員会を設置

子宮がなくても出産を望む女性への「子宮移植」について、日本産科婦人科学会(日産婦)の理事会は28日、今後の進め方について検討する小委員会の設置を決めた。苛原稔・倫理委員長は「日本は動物実験の段階で、臨床応用には時間がかかるが、実施を目指す国

内チームから意見を求められたので検討したい」と説明した。具体的には、子宮移植について日産婦としての見解を出すか▽妊娠可能な人だけに体外受精を実施するとしている見解を見直すか―などを検討する。

の女性に卵子を採取し、体外受精させて凍結保存。第三者から提供を受けた子宮を女性に移植し、受精卵を戻す。スウェーデンでは昨年、子宮移植を受けた女性による世界初の出産が報告された。これまでに3人が出産し、提供者は母親や知人だった。子宮のな

い人が子を持つには、自分の卵子を体外受精して第三者の女性に産んでもらう「代理出産」があるが、日産婦は指針で禁じている。国内では、慶応大などのチームが2009年から子宮移植の研究を始めている。このチームは昨年、臨床研究に向けた独自の指針を作成した。「下桐美雅子」

らめていた女性の福音となる可能性がある。一方、移植医療の専門家は「安全性など課題が多い」と慎重な姿勢をみせる。現在の臓器移植法は、死者からの子宮の提供を認めていない。このため実施する場合は、健康な人が提供する生体移植になりそうだが、生体移植は健康な人にメスを入れて臓器を摘出する。このため厚生労働省の指針は、臓器移植を受け

る患者が命にかかわる重い病を抱えるなど「やむを得ない場合に例外として実施する」と規定。妊娠・出産を目指す子宮移植が該当する場合は議論となりそうだが、また、子宮の提供者は親や姉妹など親族になる可能性が高く、親族にプレッシャーを与えない特段の配慮が求められる。安全性についても未知な部分が多い。移植を受けた患者は拒絶反応を抑える免疫抑制剤を服用するが、胎児への影響が指摘されている。肝臓や腎臓の移植後に

【河内敏康】

座るため長いファミレスのフ

安全性に課題も
解説 日産婦が子宮移植を検討する小委員会の設置を決めたことは、子宮がなく妊娠をあきらめたい」と話している。福島県では昨秋から、原発避難自治体住民の復興住宅への入居が始まった。県は避難者同士の交流を促進しようと「コミュニティ交流員」を復興住宅に配置。避難先の地元住民ともなじめるように、イベント開催などを通じて交流を図っている。

◎今のところ全5分毎前髪手月光は貧しき我が村で還暦ピーナツでホ本当の理由を死亡通知どう一年はもたたお笑いを見せパン落とし平お互いが皮肉有識者会議初薬書ってなか独り言たまじ寝食を忘れて座るため長いファミレスのフ

仲畑 流
◇投句方法
◇年輪電設書

な